

コロブロック

微生物試験報告書





1. 試験概要

コロブロック乾燥検体の抗菌性能試験。

2. 検査期間 : 2015年09月25日～2015年09月28日

3. 試験試料 :

- (1) ブランク (滅菌検査パック)
- (2) コロブロック (X500) 添加滅菌ケンサパック

4. 供試菌 :

- 1) *Escherichia coli* KEC-B-001 (大腸菌)
- 2) *Staphylococcus aureus* KEC-B-002 (黄色ブドウ球菌)
- 3) *Pseudomonas aeruginosa* KEC-B-006 (緑膿菌)
- 4) *Bacillus subtilis* KEC-B-003 (枯草菌)

5. 試験条件 :

- 1) 直後～7日間 25℃放置

6. 試験方法

1) 検体調整 : コロブロック液を滅菌生理食塩水を用いて500 (X500) 倍希釈したものを、5X5 cmに切り出した滅菌検査パック表面に0.2ml塗抹処理後、25℃のフラン器内で所定期間 (直後, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7日間) 乾燥したものを供した。また、未処理の滅菌ケンサパックをブランクとした。

2) 前培養 : 供試菌は標準寒天培地 (日水) で37℃24時間前培養して試験に供した。

3) 菌液調製 : 前培養した供試菌は1/500 NB培地を用いて約 $10^5$  CFU/mlになるように調整し作製した。

7. 試験法 : 各検体を滅菌シャーレに入れ、その試験面に接種用菌液0.4mlを接種し、その上に被覆フィルム (4X4cm 滅菌検査パック) を被せて蓋をした後、温度 $35 \pm 1$ ℃、相対湿度 90%以上の条件下で24時間置床する。24時間後、SCDLP 培地 (10ml) を用いてシャーレ中に十分に洗い出後、披検物質1mlを無菌的に取り出し、滅菌生理食塩水で10倍希釈段階系列を作製後、標準寒天培地に塗抹接種し、37℃/48時間培養後、培地上に形成されたコロニーを測定した。

8. 結果

今回実施した結果は表1～4のとおりであった。

表 1 コロブロックの微生物試験結果

供試菌 <i>Escherichia coli</i> KEC-B-001	接種菌数 : $6.1 \times 10^5$	
測定日	初発	24時間後
1. ブランク (滅菌ケンサパック) 直後	$2.3 \times 10^5$	$5.1 \times 10^5$
2. コロブロック (X500) 添加滅菌ケンサパック 直後		$< \times 10^1$
3. コロブロック (X500) 添加滅菌ケンサパック 1日間放置		$< \times 10^1$
4. コロブロック (X500) 添加滅菌ケンサパック 2日間放置		$< \times 10^1$
5. コロブロック (X500) 添加滅菌ケンサパック 3日間放置		$< \times 10^1$
6. コロブロック (X500) 添加滅菌ケンサパック 4日間放置		$< \times 10^1$
7. コロブロック (X500) 添加滅菌ケンサパック 5日間放置		$< \times 10^1$
8. コロブロック (X500) 添加滅菌ケンサパック 6日間放置		$< \times 10^1$
9. コロブロック (X500) 添加滅菌ケンサパック 7日間放置		$< \times 10^1$

CFU/ml

表 2 コロブロックの微生物試験結果

供試菌 <i>Staphylococcus aureus</i> KEC-B-002	接種菌数 : $6.3 \times 10^5$	
測定日	初発	24時間後
1. ブランク (滅菌ケンサパック) 直後	$2.5 \times 10^5$	$5.8 \times 10^5$
2. コロブロック (X500) 添加滅菌ケンサパック 直後		$< \times 10^1$
3. コロブロック (X500) 添加滅菌ケンサパック 1日間放置		$< \times 10^1$
4. コロブロック (X500) 添加滅菌ケンサパック 2日間放置		$< \times 10^1$
5. コロブロック (X500) 添加滅菌ケンサパック 3日間放置		$< \times 10^1$
6. コロブロック (X500) 添加滅菌ケンサパック 4日間放置		$< \times 10^1$
7. コロブロック (X500) 添加滅菌ケンサパック 5日間放置		$< \times 10^1$
8. コロブロック (X500) 添加滅菌ケンサパック 6日間放置		$< \times 10^1$
9. コロブロック (X500) 添加滅菌ケンサパック 7日間放置		$< \times 10^1$

CFU/ml

表-3 コロブロックの微生物試験結果

供試菌 <i>Pseudomonas aeruginosa</i> KEC-B-006	接種菌数 : $6.4 \times 10^5$	
測定日	初発	24時間後
1. ブランク (滅菌ケンサパック) 直後	$2.2 \times 10^5$	$6.8 \times 10^8$
2. コロブロック (X500) 添加滅菌ケンサパック 直後		$< \times 10^1$
3. コロブロック (X500) 添加滅菌ケンサパック 1日間放置		$< \times 10^1$
4. コロブロック (X500) 添加滅菌ケンサパック 2日間放置		$< \times 10^1$
5. コロブロック (X500) 添加滅菌ケンサパック 3日間放置		$< \times 10^1$
6. コロブロック (X500) 添加滅菌ケンサパック 4日間放置		$< \times 10^1$
7. コロブロック (X500) 添加滅菌ケンサパック 5日間放置		$< \times 10^1$
8. コロブロック (X500) 添加滅菌ケンサパック 6日間放置		$< \times 10^1$
9. コロブロック (X500) 添加滅菌ケンサパック 7日間放置		$< \times 10^1$

CFU/ml

表-4 コロブロックの微生物試験結果

供試菌 <i>Bacillus subtilis</i> KEC-B-003	接種菌数 : $5.2 \times 10^5$	
測定日	初発	24時間後
1. ブランク (滅菌ケンサパック) 直後	$2.3 \times 10^5$	$5.7 \times 10^5$
2. コロブロック (X500) 添加滅菌ケンサパック 直後		$< \times 10^1$
3. コロブロック (X500) 添加滅菌ケンサパック 1日間放置		$< \times 10^1$
4. コロブロック (X500) 添加滅菌ケンサパック 2日間放置		$< \times 10^1$
5. コロブロック (X500) 添加滅菌ケンサパック 3日間放置		$< \times 10^1$
6. コロブロック (X500) 添加滅菌ケンサパック 4日間放置		$< \times 10^1$
7. コロブロック (X500) 添加滅菌ケンサパック 5日間放置		$< \times 10^1$
8. コロブロック (X500) 添加滅菌ケンサパック 6日間放置		$< \times 10^1$
9. コロブロック (X500) 添加滅菌ケンサパック 7日間放置		$< \times 10^1$

CFU/ml